

令和2年度

# 事業報告書

自 令和2年 1月 1日

至 令和2年12月31日

公益財団法人 馬事文化財団

# 目 次

<b>I 根岸競馬記念公苑における事業</b>	1
<b>1 馬の博物館事業</b>	1
(1) 馬に関する博物資料の展示	1
(2) 馬に関する博物資料の調査、研究	3
(3) 出版事業	4
(4) 馬に関する博物・図書資料の収集、保管	4
(5) 資料の貸出	5
(6) 特別イベント	5
(7) 馬に関する講演会等	5
(8) 他館等との交流	6
(9) 外国人観光客への対応	6
(10) その他の協力	6
<b>2 馬展示事業</b>	6
(1) 馬の展示	6
(2) 馬事イベントの開催と外部協力	7
(3) 春秋特別イベント	8
(4) 厩舎管理等	8
<b>3 馬文化保存事業</b>	9
(1) 馬事伝統行事保存事業	9
(2) 在来馬種保存事業	9
<b>4 公苑の管理</b>	9
<b>5 入館者・入苑者</b>	9
<b>II JRA 競馬博物館における事業</b>	11
<b>1 JRA 競馬博物館事業</b>	11
(1) 馬および競馬に関する展示	11
(2) 馬の学び舎 ミュージアム・ホールでの展開	13
(3) 競馬に関する博物資料の調査、研究	14
(4) 競馬に関する博物資料の収集、保管	14
(5) 馬に関する普及活動および学習支援	15
<b>2 案内業務および入館者</b>	16
<b>III 競馬振興会館 (Gate J.) 事業</b>	18
<b>1 Gate J. 新橋の事業</b>	18
<b>2 Gate J. 梅田の事業</b>	18

3	入館者	19
<b>IV</b>	<b>広報活動</b>	<b>19</b>
1	馬の博物館	19
2	JRA 競馬博物館	20
3	Gate J. 新橋・梅田	20
<b>V</b>	<b>JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集</b>	<b>21</b>
<b>VI</b>	<b>寄附金・募金の受入れ状況</b>	<b>21</b>
<b>VII</b>	<b>庶務</b>	<b>22</b>
1	評議員に関する事項	22
2	役員等に関する事項	22
(1)	役員	22
(2)	参与	22
(3)	職員および組織図	23
3	評議員会および理事会	23
(1)	評議員会	23
(2)	理事会	24

# 令和2年度 事業報告

令和2年度においては、当財団定款第4条の目的を達成するため、事業計画に基づき根岸競馬記念公苑・馬の博物館をはじめとする財団各施設等において様々な事業を予定していましたが、全国的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い各施設の臨時休館や事業の中止を余儀なくされました。なお、実施した事業については感染拡大防止策を講じた上で開催しました。

## I 根岸競馬記念公苑における事業

### 1 馬の博物館事業

#### (1) 馬に関する博物資料の展示

新型コロナウイルスの影響により臨時休館（3月5日～7月14日）となり、年間展示スケジュールを大幅に変更・縮小し、下記のとおり第2および第3展示室において、秋季企画展およびテーマ展を開催しました。

展示期間	展示タイトル		展示場所
R1. 12. 14 ～2. 16	テーマ展	馬の彫刻家・三井高義石膏原型展	第2展示室
	テーマ展	中川コレクション 一刀装具に描かれた『馬のおはなし』—	第3展示室
2. 22～ 8. 30	テーマ展	生類憐みの日本史 ～馬から犬まで～	第2展示室
	テーマ展	人馬競演 —ようこそ、伝統と格調を兼ねた馬術の世界へ—	第3展示室
9. 5～ 11. 15	企画展	和の匠 浮世絵に生きる馬の風景	第2、第3 展示室
11. 20～ 12. 24		エアタイトケース改修工事のため 閉鎖	第2展示室
	テーマ展	小さな騎士（ナイト）たち	第3展示室

#### ①秋季企画展

秋季企画展は、『和の匠 浮世絵に生きる馬の風景』を開催しました。浮世絵の中でもとりわけ街道版画（風景画）には、“馬（一部牛）”がたびたび登場します。これは、江戸時代に東海道、中山道といった街道が整備され、やがて庶民の間で旅への関心が高まり、多くの人々が街道を行き交うことによって馬が旅人や荷物等を運ぶ重要な担い手になったことが理由です。

現在世界中から親しまれる絵師・葛飾北斎や歌川広重、溪斎英泉らは、当時の美しい景観の名所や賑やかな宿場町等とともに、交通に欠かせない馬を主役あるいは脇役として街道版画に描きました。

そして江戸から明治時代へ移行する頃、小林清親や三代歌川広重は、欧米から様々な文物や習慣とともに日本に伝わった“馬車や馬車鉄道”等、新しい輸送形態としての馬を浮世絵に描き、時代の移り変わりを表現しました。

本展では、当館が40年以上にわたり収集した馬を描いた浮世絵の風景画が一堂に会しました。鮮やかな色彩で摺られた馬を見比べながら、浮世絵の様々な表情をお楽しみいただきました。

併せて、江戸時代以来の手法で制作した道具や材料を用いて、日本独自の多色摺り版画「江戸木版画」の技術を今日まで継承されてきた株式会社高橋工房にご協力いただき、写真やイラストを通して木版画について解説しました。

さらに、高橋工房ご協力のもと、関連イベントを2件開催しました。10月17日に木版画摺師実演を開催し、摺師が葛飾北斎《富嶽三十六景 武州千住》を摺る様子をお客様にご覧いただきました。10月24日にはワークショップ〈親子で楽しむ木版画制作〉を開催し、ブックカバーと葉を木版画で制作していただきました。

## ②テーマ展

- ・『馬の彫刻家・三井高義石膏原型展』は、三井高義の60有余年におたる創作活動の中で遺したブロンズ像を造る過程に必要な石膏原型35点を中心に彫塑作品を展示しました。また三井一本松町家と根岸競馬の関係、明治後期にその名を馳せた三井家の卓越した馬術家としての一面も併せて紹介しました。
- ・『中川コレクション—刀装具に描かれた「馬のおはなし」—』では、2005年に寄贈された中川コレクションから馬が登場する物語等が描かれた刀装具を展示しました。同コレクションは馬に特別な好奇心を抱えていた故中川洋一氏が収集された刀装具、コインを中心とする蒐集群です。刀装具の美術工芸品としての美しさだけでなく、そこに描かれた馬にまつわる物語を紹介しました。
- ・『生類憐みの日本史～馬から犬まで～』は、馬を切り口として、古代から近代にかけての肉食、騎馬、狩猟、戦争、動物愛護法等に係る資料を展示しました。また、八代将軍徳川吉宗の時代に発布された「生類憐みの令」が、実は馬を中心とした法令であったことにも注目しました。このほかにも、馬と犬、猪、鹿、狼とのかかわりあいについて、絵画、和本、古写真等を展示して紹介しました。
- ・「人馬競演 —ようこそ、伝統と格調を兼ねた馬術の世界へ—」は、東京2020オリンピック・パラリンピック大会で実施予定であった馬術競

技と、障害飛越を含む近代五種競技について紹介しました。まったく馬術を知らない入館者の方々にも、イラスト等を多用してわかりやすく工夫し、理解を深めていただくよう取り組みました。なお、同展覧会は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の「東京 2020 参画プログラム（応援プログラム）」の認証を受け、同組織委員会の展示ブースを設けていただき、幅広く 2020 東京オリンピックの概要を紹介していただきました。

- ・『小さな騎士（ナイト）たち』は、騎士をモチーフとした陶器、ブロンズ、染織等の考古・美術資料を展示し、騎乗が盛んになった 3,000 年前から、世界各地で馬の図像が数多く制作されるようになったことを紹介しました。また、古代中国出土の鹿角製ハミやイラン・ルリスタン地方出土の青銅製ハミを展示し、騎乗が始まった時期の馬具もあわせて紹介しました。

### ③常設展示

常設展示は第 1、第 2 および第 4 展示室において実施しました。ただし体験用機器等は使用を中止とする等、入館者には満足していただける鑑賞が叶いませんでした。一方第 1 展示室の歴代天皇賞優勝関係パネルを 2020 年度分まで更新しました。

展示物	展示場所
根岸競馬の歴史・皇室と競馬等	第 1 展示室
曲がり家・明治天皇御料馬車	第 2 展示室
ウマの進化・馬と人との関わり	第 4 展示室

### (2) 馬に関する博物資料の調査、研究

- ・令和 2 年度開催予定だった「東京オリンピック・パラリンピック関連展示」のため、JOA オリンピックミュージアムをはじめ各機関・個人所蔵の資料等について調査しました。
- ・研究紀要第 22 号執筆のため、横浜市中心図書館、千葉県文書館および酒々井町教育委員会において調査しました。
- ・当館所蔵の出土馬骨 25 点について、放射性炭素年代測定を行いました。
- ・令和 3 年度開催予定の特別陳列「サムライアーマー」のため、鎌倉歴史文化交流館において借用予定の和鞍を調査しました。
- ・令和 3 年度開催予定の特別展「宮内公文書館との共催展（仮）」のため、宮内公文書館において調査しました。
- ・資料の購入検討のため、株式会社加島美術等において調査を行いました。

また、大学教授、博物館・美術館学芸員および研究者による当館所蔵資料の調査依頼に協力しました。

件数	調査依頼資料名
1	「武田流騎射式」
2	「本朝軍器考図式」、「本朝軍器考」
3	「日本馬模型（芦毛）」
4	「源氏物語図色紙 蛩」
5	「韃靼人狩猟図・打毬図屏風」、「雲谷等顔 馬図」、「雲谷等作 繫馬図」、「伝月山 馬図」、「伝月山 馬図」、「伝月山 双馬図」

### (3) 出版事業

秋季企画展の開催に合わせて「和の匠 浮世絵に生きる馬の風景」の図録を刊行しました。また、馬に関する博物資料の調査、研究の成果として「馬の博物館研究紀要第 22 号」を刊行し発表しました。なお、研究紀要は本号より財団ホームページでも公開することとしました。

### (4) 馬に関する博物・図書資料の収集、保管

- ①一般財団法人日本中央競馬会弘済会から助成を受け、馬事博物資料を購入するとともに、資料の寄贈を受けました。

購入資料（1点 20万円以上）

	資料名	
1	曾我物語図屏風 江戸時代	6 曲 1 双
2	エンペラーズカップ	1 点
3	エンペラーズカップ	1 点
4	徳川家康書状 16 世紀末頃	1 点
5	織田家伝馬黒印状 天正 14 年（1586）	1 点
6	浮世絵 歌川広重画「東海道五拾三次之内 嶋田」 江戸時代	1 点
7	浮世絵 歌川広重画「東海道五拾三次之内 興津」 江戸時代	1 点
8	浮世絵 北尾重政画「桜下の馬」 江戸時代	1 点
9	松前馬書 江戸時代後期	7 点
10	有馬頼貴馬注文書 江戸時代後期	1 点
11	源平合戦図扇面 桃山時代	2 件

寄贈を受けた資料

	資料名
1	富永直樹《サラブレッド》1 体

## ②資料の管理・保管

- ・業務効率およびセキュリティ向上のため、平成7年（1995）に導入した資料管理システムをより高性能なクラウド型のシステムに移行しました。また、新たに収集した図書・写真・博物資料については、新規に導入した資料管理システムに登録しました。
- ・害虫の生息状況を調査（6月5日～6月19日）の上、収蔵庫の燻蒸消毒および展示室等の床面消毒を実施しました（7月19日、20日）。
- ・一昨年と昨年の調査に基づき、第2展示室内すべてのエアタイトケースについて、気密性向上のための工事および酸化抑制のため錆除去・再塗装工事を実施しました。そのため11月20日から12月25日まで第2展示室を閉鎖しました。

## (5) 資料の貸出

北九州市立自然史・歴史博物館（「まるごとウマ展～ウマと人とのキズナ～」）に骨格標本等計19件を貸し出しましたが、当該展覧会は開催中止となりました。読売新聞社大阪本社（「皇室とスポーツ—報道写真とゆかりの品でたどる軌跡—」）に「帝室御賞典競走優勝馬主賞品 御紋付花盛器」等4件、東京農業大学「食と農」の博物館（「両極の馬具—日本人の馬あしらい—」）に「牡丹流水蒔絵鞍」等計35件を、世田谷区美術館に馬術関連資料や解説パネルを貸出予定でしたが、中止となりました。

また、書籍、新聞、雑誌、テレビ等多くの媒体（52件）に当館所蔵品の画像を無償提供し、当館資料の有効利用と馬の博物館の広報活動に努めました。

## (6) 特別イベント

本年は、予定していたさくらウィーク、夏休み企画およびクリスマスのワークショップを中止しました。

- ・ミュージアムコンサート in 馬の博物館 事前申込制・定員30名  
（12月19日、主催 クラシック・ヨコハマ2020、出演 横浜市民広間演奏会）

## (7) 馬に関する講演会等

### ①講演会の開催

- ・鹿屋体育大学（鹿児島県鹿屋市）の「大学院特別講義」において「史料にたずねる人馬一体の妙技」と題する講義を行いました。（1月30日）
- ・鎌ヶ谷市郷土資料館主催「郷土資料館セミナー」において、「東葛地域の馬牧場『小金牧』」と題した講演を千葉県鎌ヶ谷市生涯学習推進センター（まなびいプラザ）で実施しました。（12月17日）



②学芸員課程学生の博物館実習

学習院大学・関東学院大学・女子美術大学・東京農業大学・日本大学より5名の実習生を受け入れました。(8月1日～9日)

③職業体験学習

学校教育機関と連携し、生徒の職業体験学習を受け入れました。

横浜市立日野南中学校(2年)5名 1月16日

(8) 他館等との交流

- ・三井一本松町家の依頼により彫刻家三井高義の生涯作品全集(レゾネ)『彫刻 三井高義 1903-1987』の制作に際し、解説文並びに所蔵資料の画像を提供しました。
- ・博物館事業の充実を図るため、神奈川県博物館協会が開催する会議、研究会、専門部会に参加しました。
- ・第68回全国博物館大会開催のため(11月25・26日、会場:横浜市開港記念会館)、大会実行委員会運営サポートメンバーとして参加しました。
- ・各地の博物館・美術館、教育機関との交流を通じて資料の相互活用および情報交換を実施しました。

(9) 外国人観光客への対応

館内および近隣駅の観光案内所に英語版の案内リーフレットを掲出し、外国人観光客の受け入れ態勢を整えました。

(10) その他の協力

JRA 本部総務部総務課の依頼により、次年度の同本部移転に伴い、現在本部で所蔵されている絵画等の価値判断、仕分け等の調査を実施し報告しました。

## 2 馬展示事業

(1) 馬の展示

博物館事業の一環として実施する実馬展示については、多品種の馬11頭を繋養し、馬場での放牧や騎乗等のほか、日常の飼養管理の様子を紹介し、馬の行動を観察できる環境を維持しました。

## 展示馬一覽表

	馬名	品種	毛色	生年	年齢	性別	産地	体高	入退厩日
1	ペルニー	中半血	茶斑	1998年 推定	22	セン	不詳	102cm	2008. 4. 25 函館競馬場より受贈
2	ミカン	野間馬	栗毛	2010年5月	10	セン	今治市	100cm	2013. 2. 15 野間馬保存会より借 受
3	ゆき	北海道和種	河原 毛	2011年4月	9	牝	函館市	127cm	2013. 11. 17 購入
4	マイネル キッツ	サラブレッド	栗毛	2003年3月	17	セン	新冠町	164cm	2013. 12. 11 サラブレッドクラ ブ・ラフィアンより 受贈
5	シザーZ	Zangersheide	鹿毛	2005年6月	15	セン	ベルギー	168cm	2014. 9. 11 競馬学校より受贈
6	マイネル ネオス	サラブレッド	鹿毛	2003年3月	17	セン	新冠町	160cm	2014. 11. 6 サラブレッドクラ ブ・ラフィアンより 受贈
7	サンゴ	与那国馬	鹿毛	2014年3月	6	セン	与那国島	117cm	2016. 3. 8 購入
8	イツ	フリージアン	青毛	2002年4月	18	セン	ベルギー	166cm	2019. 11. 27 東京競馬場より受贈
9	エミ	ミニチュアホース	青毛	2001年	19	牝	不詳	88cm	2019. 11. 27 東京競馬場より受贈
10	カスミチャ ン	サラブレッド	芦毛	2012年3月	8	牝	新ひだか 町	161cm	2019. 12. 18 購入
11	エベレスト	ベルギー温血種	芦毛	2004年4月	16	セン	ベルギー	172cm	2020. 3. 7 競馬学校より受贈
	ヴァオドウ ー	ベルギー温血種	芦毛	1998年6月	22	セン	ベルギー	175cm	2020. 2. 29 退厩

※年齢は、2020年12月末日現在

### (2) 馬事イベントの開催と外部協力

本年は新型コロナウイルス感染防止に留意して、規模・内容を変更し、ふれあいイベントを実施しました。

#### ①体験乗馬

馬の博物館入館者を対象とした乗馬デー（体験乗馬）を1月は第2日曜日、2月は第3日曜日に実施しました。3月以降は「乗馬デー」を中止し、感染者の減少が認められた7月以降、実施規模・内容を変更して、毎月第3日曜日に「試乗会」を各々先着20名対象に実施しました（但し8月は猛暑のため中止）。

#### ②にんじんタイム

例年、毎週土曜日に、お客様に馬に親しんでいただくため、にんじんと与え、馬と触れ合うことができる機会を提供していましたが、本年の3月～5月の間は中止しました。6月20日以降、先着10組を対象に再開しました。

### ③体験学習講座

例年、小学校高学年児童を対象に、馬に関する基礎知識の学習や馬房の清掃、体験乗馬、馬の手入れ等を行う「一日愛馬教室」を実施していましたが、本年は、秋の特別イベントの日（11月15日）に、参加人数を制限して（6名対象）、半日の日程で「愛馬教室」を実施しました。

### ④その他の協力

2月までは来苑した幼稚園・小学校等からの要請に応じて、馬について説明したほか、馬との触れ合い体験の場を提供しましたが、見学は禁止としました。

その他、在来馬等の展示馬を活用し、外部団体等のイベントに協力しました。

- ・第4回ホースメッセへの協力

1月16～19日（主催：ホースメッセ実行委員会）

- ・梅まつりへの協力

2月15日（根岸森林公園、主催：横浜植木株式会社）

### (3) 春秋特別イベント

本年は、春季特別イベントを中止しました。

秋季は11月15日に「親子で馬に親しむ日」を開催し、愛馬教室やポニー・馬の試乗会を実施しました。

実施日	催物（集客）	内容
5.5	中止	
11.15	親子で馬に親しむ日 （事前申込制） ※「馬とのつどい」代替	・愛馬教室 参加者6名 ※定員6名 ・ポニーの試乗会 参加者24名 ※定員30名 ・馬の試乗会 参加者25名 ※定員30名 ・お絵描き体験「ミニホースペインティング」 参加者24名 ※予定人数33名 参考：当日の来苑者：1,670名 当日の博物館来館者：148名

### (4) 厩舎管理等

展示馬の健康管理については体温・行動等に常に留意し、また、伝染病予防接種等の防疫管理、厩舎の定期消毒・害虫駆除等の衛生管理を実施しました。

お客様への展示については、厩舎地区への立ち入りを制限しましたが、馬の運動中の様子については「3密」を避ける施策をとりながら見学できるよう展示環境の提供に努めました。

### 3 馬文化保存事業

#### (1) 馬事伝統行事保存事業

わが国に古くから伝わる馬に係わる伝統行事の保存および振興を図るため、馬事伝統行事を実施する 42 団体に対して、助成金の交付を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、行事を実施できた団体は 9 団体となり、33 団体への助成金の交付が中止となりました。

#### (2) 在来馬種保存事業

わが国に現存する 8 種類の在来馬種の保存活動を実施する団体に対し、公益社団法人日本馬事協会を通じて助成金を交付しました。

また、Gate J. 出張イベントとして昨年まで実施していた主要競馬場等での「在来馬保護チャリティーイベント」は、すべて中止となりました。

### 4 公苑の管理

草花の植栽や樹木の剪定等を計画的に実施し、公苑の整備と美化に努めました。また、公苑内の警備や建物の総合管理業務等は各業者に委託しました。

### 5 入館者・入苑者

区分	馬の博物館						根岸競馬記念公苑		
	開館日数	入館者数					開苑日数	入苑者数 (概数)	1日 平均
		大人	小人	団体	合計	1日 平均			
1月	23日	527	177	69	773	34	23日	10,890	473
2月	21日	971	255	152	1,378	66	25日	17,270	691
3月	3日	76	18	12	106	35	27日	28,570	1,058
4月	0日	0	0	0	0	0	7日	10,430	1,490
5月	0日	0	0	0	0	0	0日	0	0
6月	0日	0	0	0	0	0	24日	9,970	415
7月	13日	285	67	16	368	28	27日	8,540	316
8月	22日	582	117	10	709	32	26日	7,670	295
9月	18日	647	137	26	810	45	26日	9,370	360
10月	22日	774	100	39	913	42	27日	14,390	533
11月	19日	1,051	212	14	1,277	67	23日	16,210	705
12月	17日	361	71	7	439	26	24日	11,240	468
2年計	158日	5,274	1,154	345	6,773	43	259日	144,550	558
前年計	288日	16,637	6,030	3,696	26,363	92	311日	220,640	709
前年比 (%)	54.9	31.7	19.1	9.3	25.7	46.7	83.3	65.5	78.7

\*1日最高入館者数 162人 2月24日

\*1日最高入苑者数(概数) 3,710人 4月4日

\*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
14	0	71	25	0	21	15	199	0

## II JRA 競馬博物館における事業

### 1 JRA 競馬博物館事業

#### (1) 馬および競馬に関する展示

年間展示スケジュールは以下のとおりでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う東京競馬場の閉鎖、無観客競馬開催の実施に伴い、2月29日（土）以降臨時休館となり、これ以降に予定していた展示の多くは展示期間を変更あるいは次年度に延期することとなりました。その後、11月7日（土）（5回東京競馬第1日）より再開し、競馬開催日のみ開館しました。また、12月5日（土）（5回中山競馬第1日）からは、14:00で閉館しました。

展示期間	展示タイトル		展示場所
R1. 11. 2 ～2. 24	特別展	「ありがとう！ディープインパクト」	ギャラリー エントランスホール
R1. 11. 2 ～2. 24	特別展	「ファンが選ぶ思い出の顕彰馬～時代を彩った名馬たち～」	展示室 3
H31. 4. 20 ～2. 24	企画展	「ジョッキーへの道～騎手という仕事～」	馬の学び舎
R1. 12. 7 ～2. 2	エントランス展	「第 39 回ジャパンカップ優勝馬展」	エントランスホール
2. 29～ 4. 19		「2019 年度 JRA 賞展」 (展示期間を変更)	展示室 3
2. 29～ R3. 8 下 旬	企画展	「馬にかかわるいろいろなおしごと～競走馬を支える厩舎スタッフ～」 (展示期間を変更)	馬の学び舎
4. 25～ 8. 30	春季 特別展	「馬術競技と馬事公苑 ～1964 から 2020 へ～」 (次年度に延期)	ギャラリー 展示室 3 エントランスホール
3 月上旬 ～ 5 月下旬	エントランス展	「2020 年度新人騎手紹介展」 (展示期間を変更)	エントランスホール
6 月上旬 ～ 7 月下旬	エントランス展	「第 87 回日本ダービー優勝馬展」 (展示期間を変更)	エントランスホール
9. 5～ 10. 4		「長瀬智之作品展」 (次年度に延期)	展示室 3
10. 10～ 11. 29	秋季 特別展	「創設 40 回記念 ジャパンカップとその時代」 (次年度に延期)	ギャラリー 展示室 3 エントランスホール

12.5～ R3.2月 下旬		「競馬ポスター展Ⅱ」 (次年度に延期)	ギャラリー 展示室3
12.12～ R3.2.21	エントラ ンス展	「第40回ジャパンカップ優勝馬 展」	エントラン スホール

### ①特別展

- ・前年7月30日にディープインパクト号が亡くなったことを受けてJRAの要請により開催した『ありがとう！ディープインパクト』を、前年から引き続き開催しました。同馬への哀悼の意を表すとともに、その偉大な蹄跡を関係資料等とともに振り返りました。
- ・同じく前年から引き続き『ファンが選ぶ思い出の顕彰馬～時代を彩った名馬たち～』を開催しました。1984年（昭和59）の選考開始以来現在33頭が選出されている顕彰馬のうち、当館で実施したファン投票「私が選ぶ思い出の顕彰馬」の上位16頭について、関連資料をファンの皆様から頂いたコメントとともに紹介しました。
- ・年間で予定していた特別展の他に、キタサンブラック号が顕彰馬に選定されたことを記念し『キタサンブラック号 顕彰馬選定記念展』を競馬の殿堂において、令和2年11月7日（土）～令和3年2月21日（日）の期間開催し、同馬の功績を紹介いたしました。

### ②企画展

- ・前年から引き続き『ジョッキーへの道～騎手という仕事～』を開催し、競走馬とともに競馬の主役を担うジョッキーに焦点を当て、その仕事の魅力、養成施設であるJRA競馬学校（騎手課程）等について紹介しました。
- ・競馬に関わるさまざまな仕事を紹介する企画として、『騎手という仕事』に続いて、『馬にかかわるいろいろなおしごと～競走馬を支える厩舎スタッフ～』を開催し、競馬を日々支えている調教師、調教助手、厩務員といった厩舎スタッフの仕事を紹介しました。なお同展示は開催予定初日より競馬博物館が休館となったことから、実質的な展示開始は11月7日（土）からとなり、展示期間を次年度の8月下旬までと変更しました。

### ③その他の展示

- ・『2019年度JRA賞展』は開催予定初日より競馬博物館が休館となったことから、実質的な展示開始は11月7日（土）からとなり、展示期間を次年度の2月上旬までと変更しました。
- ・『2020年度新人騎手紹介展』および『第87回日本ダービー優勝馬展』は、競馬博物館の休館に伴い、展示期間をそれぞれ11月7日

(土) から 12 月 6 日 (日) まで、および 11 月 7 日 (土) から令和 3 年 2 月 21 日 (日) までと変更しました。

#### ④競馬および馬に関する常設展示

ライヴシアター「Thoroughbred」において「サラブレッド・ラボ」、「競走馬への道～栄光を目指して～」および「“競馬の祭典” 日本ダービー～馬と人とが織りなすドラマ～」を上映しました。また、「なりきりジョッキー」や「スターティングゲート」の体験機器は円滑・安全に運用できるよう保守管理に努めました。

#### ⑤移動展示および他団体主催展示への協力

競馬場等からの依頼により展示イベント開催に協力予定でしたが、全て中止や延期となりました。

	展示期間	展示タイトル	展示場所
	貸出資料		
1	2. 29～4. 19	ディープインパクト特別展示 (無観客競馬により開催中止)	中山競馬場地下 1 階 競馬ギャラリー
	第 72 回日本ダービー優勝時着用帽色、展示パネル他		
2	3. 28～5. 17	移動展「ファンが選ぶ思い出の顕彰馬～時代を彩った名馬たち～」 (無観客競馬により開催中止)	阪神競馬場 1 階 メディアストリート
	ディープインパクト三冠達成記念ゼッケン、展示パネル他		
3	4. 24～9. 6	特別展「両極の馬具—日本人のあしらい」 (2021 年度に延期)	東京農業大学「食と農」の博物館
	「賀茂競馬」他映像 5 作品		

#### (2) 馬の学び舎 ミュージアム・ホールでの展開

等身大の馬像 (ばん馬・サラブレッド・日本在来馬) を展示するとともに、展示イベントに合わせて、博物資料、解説パネルを設置しました。また、映像コーナーでは 150 インチ中型映像装置を用いて、オリジナルアニメーションや馬事文化紹介映像等を上映しました。

さらに 2 月 29 日 (土) の休館までは、当館の認知度向上、来場促進および多目的機能の積極的な活用を目的として、東京競馬開催期間に幅広い層の来館者に訴求するイベントを随時実施しました。

〈馬の学び舎 展示一覧〉



	展示期間	展示タイトル
1	H31. 4. 20～2. 24	企画展「ジョッキーへの道～騎手という仕事～」
2	2. 29～R3. 8 下旬	企画展「馬にかかわるいろいろなおしごと～競走馬を支える厩舎スタッフ～」

〈馬の学び舎 映像上映一覧〉

	作品区分	タイトル
1	アニメ馬物語	走れ！ドンタ
2	〃	博物館は大騒ぎ
3	〃	頑固馬ミカゲじいさん
4	アニメ HORSE DREAMER	島田牧場へようこそ
5	〃	天下の沙汰も馬しだい
6	グリーンチャンネル アーカイブス	超絶景競馬！ホワイトターフ in スイス サン・モリッツ
7	ホースショー	JRA 東京競馬場アトラクションホースショー ミニチュアホースの1日に密着 誘導馬マイネルハウオウの一日

〈馬の学び舎 イベント一覧〉

	イベント名	内容	実施日
1	馬のお医者さんのお仕事	馬のウイルス性呼吸器感染症について、新型コロナウイルス感染症流行で話題となっていたPCR検査も含めて、競馬博物館部長が紹介	2. 22 2. 23

(3) 競馬に関する博物資料の調査、研究

明治時代以降の競馬開催に関する文献資料を長期的に保存・活用するため、デジタルアーカイブ化に取り組みました。展示開催のため、府中市立図書館において調査を実施しました。

(4) 競馬に関する博物資料の収集、保管

① 寄贈を受けた主な資料

	資料名
1	コントレイル号馬主服 1点
2	福永祐一騎手使用鞭（第87回日本ダービー優勝時使用）1点

3	コントレイル号蹄鉄 一式
4	コントレイル号調教用ゼッケン 1点
5	矢作厩舎オリジナルマスク 1点
6	アサデンコウ号蹄鉄（第34回日本ダービー優勝時使用）2点
7	タニノハローモア号蹄鉄（第35回日本ダービー優勝時使用）一式
8	種牡馬写真帖（戦前） 1点
9	賞品「農林大臣賞メダル」（表彰式用レプリカ） 2点
10	賞品「第1回さくらんぼ記念優勝馬主」 1点
11	アーモンドアイ号馬主服（第40回ジャパンカップ優勝時使用）1点
12	C.ルメール騎手使用鞭（第40回ジャパンカップ優勝時使用）1点
13	C.ルメール騎手使用ゴーグル（第40回ジャパンカップ優勝時使用）1点
14	アーモンドアイ号蹄鉄（第40回ジャパンカップ優勝時装着）一式

## ②資料の管理・保管

- ・収蔵資料の燻蒸消毒による保存、整理等を実施しました。
- ・より高性能なクラウド型の資料管理システムに移行し、収集した図書・博物資料の入力、管理業務を実施しました。

## (5) 馬に関する普及活動および学習支援

馬および競馬に対する関心を高めてもらうこと、また馬に対する愛情を深めてもらうことを目的として、家族向けワークショップ等の各種イベントおよび特別展・企画展の開催に併せた担当学芸員による博物館ガイドツアー等を実施しました。

### ① 第1回東京競馬イベント開催

	イベント名	内容	実施日
1	博物館ガイドツアー	学芸員が特別展『ありがとう！ディーピンパクト』および特別展『ファンが選ぶ思い出の顕彰馬』の展示について解説。	2.2 2.9 2.16 2.23
2	親子でお馬さんを作ろう！	在来馬やサラブレッドを模したペーパークラフトやウッディクラフトの馬を親子で製作	2.2 2.15
3	乗馬服を着て記念撮影しよう！	小学校低学年以下を対象に乗馬服姿でディーピンパクトのパネル前で記念撮影	2.1 2.9
4	木馬に乗ってみよう！	小学生を対象とした米国製訓練用木馬の体験騎乗	2.8 2.16 2.22
5	Gate J. Presents 抽選券付アンケート	特別展最終日に博物館関連グッズ等が当たる抽選券付アンケートを実施	2.23

②博物館カレンダー配布

	イベント名	内容	実施日
1	2021年馬事文化財団オリジナルカレンダー配布	WEBにおいて申し込みを受け付け、先着順450名様に郵送により配布	12.4～ 12.6

③団体見学プログラム

展示解説ツアーや馬の学び舎ミュージアム・ホールの中型映像装置を活用した馬に関する講義等を含めた「団体見学プログラム」を下表のとおり実施しました。

	団体名	人数	実施日	プログラム
1	中央線の会	15	1.16	講義

2 案内業務および入館者

総合案内所を始め館内にインストラクターを配置し、入館者に対する案内業務を実施しました。2月29日以降は、東京競馬場入場制限のため臨時休館や開館時間を短縮した体制としました。

区分	開館日数	入館者数	1日平均入館者数	備考					
				開催日		パークウインズ		平日	
1月	17日	3,972	234	開催日	-	パークウインズ	9日	平日	8日
2月	18日	10,794	560	開催日	8日	パークウインズ	0日	平日	10日
3月	-	-	-	開催日	-	パークウインズ	-	平日	-
4月	-	-	-	開催日	-	パークウインズ	-	平日	-
5月	-	-	-	開催日	-	パークウインズ	-	平日	-
6月	-	-	-	開催日	-	パークウインズ	-	平日	-
7月	-	-	-	開催日	-	パークウインズ	-	平日	-
8月	-	-	-	開催日	-	パークウインズ	-	平日	-
9月	-	-	-	開催日	-	パークウインズ	-	平日	-
10月	-	-	-	開催日	-	パークウインズ	-	平日	-
11月	9日	1,201	133	開催日	9日	パークウインズ	-	平日	-
12月	8日	541	68	開催日	-	パークウインズ	8日	平日	-
2年計	52日	16,508	317	開催日	17日	パークウインズ	17日	平日	18日
前年計	237日	121,989	515	開催日	45日	パークウインズ	61日	平日	131日
前年比(%)	21.9	13.5	61.6						

\*1日最高入館者数

開催日	2,297人	2月23日	(フェブラリーS当日)
パークウインズ日	472人	1月13日	(成人の日・フェアリーS当日)
祝・平日(非開催日)	502人	2月11日	(建国記念の日)

\*1日平均入館者数/総入館者数

開催日	591人 / 10,043人
パークウインズ日	207人 / 3,514人

祝・平日（非開催日） 164人 / 2,951人

\*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
78	-	44	-	-	-	-	171	32

### Ⅲ 競馬振興会館（Gate J.）事業 ※2020年12月末日現在

#### 1 Gate J. 新橋の事業

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2月29日より臨時休館しました。

- ① 施設内の壁面等を活用し、パネル展示等を実施しました。

	展示期間	展示タイトル
1	R1. 10. 23～2. 17	ミニ展覧会「日本在来馬（前期）」
2	1. 15～2. 17	第6回高谷義則作品展
3	2. 19～3. 23	JRA 競馬学校騎手課程卒業生作品展
4	2. 19～未定	ミニ展覧会「日本在来馬（後期）」

- ② Gate J. のスタジオにおいて、グリーンチャンネル番組「草野仁の Gate J. +（プラス）」の公開収録※を10回実施したほか、テレビ番組制作会社の依頼による競馬関連番組の収録が6件、競馬関連団体の依頼による研修用DVD映像の収録が1件ありました。

※3月および6～12月は無観客収録（4・5月は収録中止）

- ③ 開館時は大型モニター等を利用し、中央競馬中継や競馬情報番組を放映するとともに、馬の博物館等の施設紹介や展示の案内等を実施しました。

- ④ 2021年秋にJRA本部事務所の移転に合わせて、現在のJRA新橋分館からの移転を予定しており、会場設備および映像音響設備の設計等の準備を進めました。

#### 2 Gate J. 梅田の事業

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2月29日より臨時休館となりました。

- ① 施設内の壁面を活用し、パネル展示を実施しました。

	展示期間	展示タイトル
1	R1. 10. 25～2. 16	ミニ展覧会「全国の馬の祭り」
2	1. 5～2. 10	第6回競馬写真家グループ展「時 サラブレッド」
3	2. 22～	ミニ展覧会「日本在来馬（前期）」

- ② 開館時は館内モニター等を利用し、中央競馬情報番組等や中央競馬レースリプレイを放映するとともに、馬の博物館等の施設の紹介等を実施しました。

### 3 入館者

区分	Gate J. 新橋			Gate J. 梅田		
	開館日数	入館者数	1日平均	開館日数	入館者数	1日平均
1月	24日	11,516	480	15日	17,972	1,198
2月	23日	10,891	474	14日	14,926	1,066
3月	0日	0	0	0日	0	0
4月	0日	0	0	0日	0	0
5月	0日	0	0	0日	0	0
6月	0日	0	0	0日	0	0
7月	0日	0	0	0日	0	0
8月	0日	0	0	0日	0	0
9月	0日	0	0	0日	0	0
10月	0日	0	0	0日	0	0
11月	0日	0	0	0日	0	0
12月	0日	0	0	0日	0	0
2年計	47日	22,407	477	29日	32,898	1,134
前年計	297日	147,051	495	208日	253,752	1,220
前年比 (%)	15.8	15.2	96.3	13.9	13.0	93.0

\*1日最高入館者数

Gate J. 新橋 659人 1月17日 (Gch番組公開収録当日)

Gate J. 梅田 2,264人 1月5日 (金杯当日)

## IV 広報活動

### 1 馬の博物館

- ① 馬の博物館の商業映像を、JRA競馬場のターフビジョン、ITV、グリーンチャンネル等において展示内容の紹介とともに放映しました。また、JRA各施設、マスコミ、教育・文化関係機関、交通機関や観光案内所、近隣の協力企業等にポスターやパンフレットを配布しました。
- ② 企画展および秋季特別イベント開催時には地元メディアや近隣に広報しました。
- ③ 月刊誌「優駿」等の発行印刷物に展示案内を掲出しました。
- ④ ラジオ、新聞、雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ⑤ ホームページ、FacebookやTwitterを活用し、最新情報・展示情報を随時更新するとともに、臨時休苑・休館した際も、苑内の馬の写真・動画の配信等を行いました。またホームページに、緊急のお知らせ等を独自に掲出できる機能を加えました。

- ⑥ 施設案内リーフレット、オリジナルグッズおよびパンフレット等をイベント等の開催時に配布し、広報活動の一助としました。

## 2 JRA 競馬博物館

- ① 春および秋の特別展・企画展は開催しなかったことから、例年実施しているインターネット広告、競馬雑誌等による告知は行いませんでした。
- ② 1回東京競馬においては、東京競馬場内のインフォメーションおよび各入場門、来賓受付、馬主協会受付において当館案内パンフレットおよびイベントパンフレットを常置し、来館促進およびイベント告知を図りました。また、東京競馬場内外の博物館専用看板を有効に活用し、競馬場来場者等への博物館誘導を図りました。
- ③ 月刊誌「優駿」等 JRA 発行印刷物には、開館状況および展示に関する案内を掲出しました。
- ④ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新し、開館状況および展示に関する告知を図りました。また、JRA 競馬博物館公式 Facebook にて適時、情報を発信しました。
- ⑤ オリジナルカレンダーを制作し配布しました。本年は来館者への直接の配布は中止し、ホームページからの申し込みおよび郵送による配布といたしました。また、報道関係者・府中市内の各種機関・競馬関係者等にも配布しました。

## 3 Gate J. 新橋・梅田

- ① 施設の案内リーフレット等を適宜配布し、広報活動の一助としました。
- ② ホームページに最新のイベント情報等を随時更新するとともに情報の充実を図りました。
- ③ 開館時は館内の大型モニターを活用して、馬の博物館・競馬博物館の商業フィルムおよび特別展の開催告知等を放映しました。
- ④ JRA 競馬場のターフビジョンや ITV、グリーンチャンネルにおいて、Gate J. 新橋・梅田の商業映像を放送しました。
- ⑤ 梅田の開館 10 周年を記念して、10 周年オリジナルグッズを製作しました。

## V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

JRA から業務委託を受けて、JRA 賞馬事文化賞の候補作品の情報収集および選定補助業務を実施しました。

## VI 寄附金・募金の受入れ状況

令和 2 年度においては、在来馬保護のため総額 242,908 円の寄附金を受入れました。

### ① 在来馬保護チャリティー募金(馬の博物館設置)

1 月～12 月 合計 43,065 円

### ② その他の在来馬保護のための寄附金

受入日	寄附金額 (円)
3. 4	159,843
6. 26	30,000
12. 11	10,000
合計	199,843



## Ⅶ 庶務

### 1 評議員に関する事項（令和2年12月31日現在）

氏名	就任日	退任日
岡部 長忠	H25. 1. 4	
澤野由紀子	H25. 1. 4	
山崎 毅紀	H25. 1. 4	
臼田 雅弘	H31. 4. 1	
小畠 薫	R2. 12. 10	
楯岡 信一	R2. 12. 10	
井上 謙吾	H25. 1. 4	R2. 11. 3（死亡）
川崎 泰彦	H28. 4. 4	R2. 12. 10

### 2 役員等に関する事項（令和2年12月31日現在）

#### (1) 役員

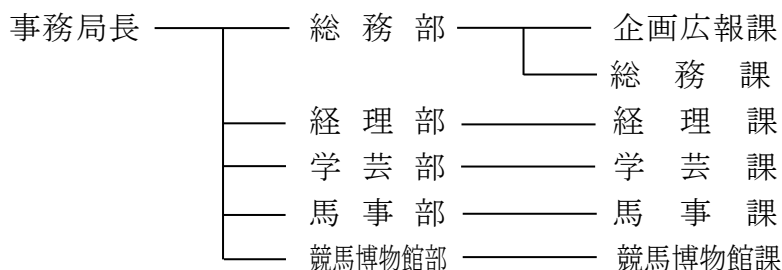
役職名	氏名	就任日	退任日	備考
理事長	小林善一郎	R2. 3. 27		
理事長	小畠 薫	H29. 3. 1	R2. 3. 26	
常務理事	山野辺 啓	H31. 3. 28		
理事	栗田 晴夫	H28. 2. 25		非常勤
理事	齊藤 茂	R2. 2. 27		非常勤
理事	小林善一郎	R2. 2. 27		非常勤 (3.26迄)
理事	大井 俊雄	H28. 2. 25	R2. 12. 10	非常勤
監事	平野 浩章	H29. 3. 21		非常勤
監事	石井 秀司	H30. 2. 23		非常勤

#### (2) 参与

氏名	就任日	退任日	備考
長塚 孝	H31. 4. 1		
真家 眞	R1. 7. 24		
末崎 真澄	H30. 2. 24	R2. 2. 29	非常勤

(3) 職員および組織図

職員 23 名、嘱託 2 名で組織図は以下のとおりです。



3 評議員会および理事会

(1) 評議員会

回数	開催日	議決事項等	評議員		議決の結果
			現在数	出席数	
1	2.27	①令和元年度事業報告書について	6名	5名	全員賛成
		②令和元年度貸借対照表および正味財産増減計算書等について	6名	5名	全員賛成
		③定款の一部改正について	6名	5名	全員賛成
		④評議員および役員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	6名	5名	全員賛成
		⑤任期満了に伴う理事および監事の選任について	6名	5名	全員賛成
2	書面決議 12.9	①令和3年度事業計画書について	5名	5名	全員賛成
		②令和3年度収支予算書について	5名	5名	全員賛成
		③当財団評議員として楯岡信一様を選任することについて	5名	5名	全員賛成
		④当財団評議員として小島薫様を選任することについて	5名	5名	全員賛成
		⑤評議員および役員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	5名	5名	全員賛成
		⑥理事および監事の報酬等の総額について	5名	5名	全員賛成

## (2) 理事会

回数	開催日	議決事項等	理事		議決の結果
			現在数	出席数	
1	2.5	①令和元年度事業報告書について	4名	4名	全員賛成
		②令和元年度貸借対照表および正味財産増減計算書等について	4名	4名	全員賛成
		③定款の一部改正について	4名	4名	全員賛成
		④評議員および役員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	4名	4名	全員賛成
		⑤組織規程の一部改正について	4名	4名	全員賛成
		⑥任期満了に伴う理事および監事候補者の評議員会に対する推薦について	4名	4名	全員賛成
		⑦第1回評議員会の開催について (報告事項)	4名	4名	全員賛成
		⑧理事長および常務理事による職務の執行状況について			
2	2.27	①任期満了に伴う理事長および常務理事の選定について	6名	6名	全員賛成
3	書面決議 3.20	①当財団理事長(代表理事)として小林善一郎理事を選定することについて	6名	6名	全員賛成
4	書面決議 11.12	①令和3年度事業計画書について	5名	5名	全員賛成
		②令和3年度収支予算書について	5名	5名	全員賛成
		③当財団評議員として楯岡信一様を選任するよう各評議員に提案することについて	5名	5名	全員賛成
		④当財団評議員として小島薫様を選任するよう各評議員に提案することについて	5名	5名	全員賛成
		⑤評議員および役員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	5名	5名	全員賛成
		⑥組織規程の一部改正について	5名	5名	全員賛成
		⑦理事および監事の報酬等の総額について	5名	5名	全員賛成
		⑧第2回評議員会の開催について	5名	5名	全員賛成